令和６年度　浦安市立富岡中学校　第４回　学校地域連携運営協議会の概要

日　時　令和７年２月２７日（木）１８時３０分～２０時３０分
場　所　富岡中学校図書室
出席者　委員８名（欠席者２名）
　　前学校評議員（２名）、学校支援コーディネーター、前ＰＴＡ会長
　　現ＰＴＡ会長、元校長、現校長、現教頭
　　傍聴なし

次　第　１　会長挨拶
　　２　校長挨拶
　　３　第３回協議内容確認
　　４　協　議
　　（１）令和６年度学校評価の結果について
　　（２）令和６年度不祥事防止に係る全体計画・年間計画について
　　（３）令和７年度に向けた検討事項について
　　（４）令和７年度学校経営方針（案）について
　　（５）その他
　　５　その他

１　会長挨拶

●新しい試みである学校地域連携運営協議会（以後ＣＳと記載）も４回目となった。これまでとどのような違いが出せるのかが大切である。
●間もなく公立高校の合格発表があり、卒業式となる。あっという間の一年間であった。
●本日の協議で、来年度に向けてブラッシュアップしていければよい。

２　校長挨拶

●ＣＳを目玉の一つとして取り組んでおり、富中のＨＰにも掲載している。教育委員会の先生方が議事録を読んでくださり、教頭会や教務主任会で紹介してくださった。校長会研修会でのＣＳのグループ発表についても、教育長から予想以上の取組であると評価された。
●２～３学期にかけて、さまざまな研修や体験を行った。
（いのちの教育講演会、歯のすこやか教室、ＳＮＳの講演会、ＪＯＣオリンピック教室など）
●生徒の努力がさまざまな結果に結びついた。
（「社会を明るくする運動作文」入賞、「善行表彰」吹奏楽部受彰、「全日本英語弁論大会」決勝進出など）
●小中連携の一環で、児童の登校時間に合わせて、富岡小と東野小で合同挨拶運動を行った。
●２月２０日に学校支援コーディネーターが中心となって、コーディネーターズカフェを開いてくださった。定期テストの日に、生徒が下校した後、先生方が家庭科室でコーヒーを飲みながら談笑させていただいた。
●３月４日に公立高校の合格発表、１３日に卒業式がある。
●校内は、３年生を送る会や卒業式に向けて歌声が響いている。
●本市ではいろいろな取組が実施・予定されている。
（週２８時間制の教育課程、学びの多様化学校の開室(R7)、県立特別支援学校の開校(R9)）

３　第３回協議内容の確認

○ＨＰ掲載資料で確認。

４　協議

（１）令和６年度学校評価の結果について

●路上を広がって歩くなど、１つの事象に焦点があたってアンケートに影響が出ていると考える。アンケートの難しさである。

●保護者のアンケート提出率が５０％であり、工夫した方がよい。

→ アンケートの回答の依頼を、メール等により２～３回呼びかける必要があるだろう。

●昨年、創立４０周年の素晴らしい節目を迎え、素晴らしい方向に向かっていると考える。体育祭や授業参観、学校コンクールを参観させていただいたが、すべて子どもたちが主体的に頑張っていた。「ああ、いいな。」という気がした。

●「良いこと悪いことの判断ができ、ルールを守って生活している」の生徒の評価が大きく向上している。これは、生徒指導の根幹となることで素晴らしいと思う。

●主体的な学びに関する項目の生徒評価が下落しているのが気になる。「自分から学習しようとし、授業に熱心に取り組んでいる」の生徒の否定的回答が４分の１もある。

→ 一方、「先生の授業はわかりやすい」の生徒評価も、「先生は熱心に授業を行っている」の保護者評価も向上している。教員の自己評価は高くはないが、まだまだ足りないという意識なのだろう。

●昔は黙って座って先生の言うことを聞く授業だったが、この形でもかなりの学力がつくと考えている。今の授業は話合いが増えている。

→ これからの時代は、知識を活用する必要がある。先ずは聞いて、知識を身につける。次にその知識を活用することが大事。

→ 生徒の考える力は高いレベルにあると認識している。話を聞く集中力も高い。聞いた後の感想文もとても鋭いものがある。聞く力、考える力、表現する力が身についていると実感している。

●先生方が単元ごとに小テストを行ったり、こまめに自己評価をさせたりしていることを、機会を見つけて保護者に発信・周知するとよい。

●家庭学習の評価は高くないが、定義をはっきりさせるとよい。多くの生徒が塾に通っている中で、家庭に帰ってさらに学習する時間がないという現実もあるだろう。

→ 家庭で何を勉強したらよいのかわからない生徒もいるだろう。間違えたところを復習したり、次の単元を予習したりするなど、具体的な指示が必要なのかもしれない。

→ 学校で使用している端末の学習問題を、自宅のＰＣで取り組むことができる。

●学校に通えない生徒の対応については、日本と海外では異なるところがあるが、学びの多様化学校は、様々な子どもを受け入れるという意味でよいと思った。

→ その他、適応指導教室などの外部機関で学んだり、オンラインで授業を受けたりすることもできる。

→ 現在は、学校に通えない子どもたちを「来られない子たち」ではなく、この子たちが「何を求めているのか」を考えなければならないというようになった。

●先生方が忙しすぎて生徒とゆっくり話ができないところがあると思う。

●挨拶は、今後「誰に対して」挨拶をしていくかという目標をもたせるとよい。

→ 挨拶は関わりのある人にするとよい。不審者に対する防犯効果もある。

（２）令和６年度不祥事防止に係る全体計画・年間計画について（校長より）

●浦安市のすべての学校で全体計画と年間計画を作成している。令和６年度の計画を見直して、令和７年度の計画を作成する。

（３）令和７年度に向けた検討事項について（校長より）

●全教科の評価の二期制を検討している。それぞれのメリット、デメリットを考えて決定する。

●体育祭の実施時期について検討している。春に実施すると生徒主体の活動が行いにくく、秋に実施すると合唱コンクールと重なる。また、旅行行事ある。次年度も継続して検討していく。

●職場体験について検討している。本校には社会人キャリア教育授業があり、他の行事との兼ね合いも含めて決定していく。
●男女混合名簿の導入を考えている。小学校や高校では混合名簿が使用されており、体育や保健関係で必要な男女別名簿との使い分けを考えていきたい。
●下校時間について検討している。現在は月ごとに細かく設定しているが、来年度からは夏季と冬季の二期で検討してきたい。

（4）令和７年度学校経営方針（案）について
●かつてお世話になった校長先生がおっしゃった「一隅を照らす」という言葉を今でも思い出すことがある。今考えらえている言葉が富中生の血となり肉となると思う。」
●生徒たちから「凡事徹底」という言葉がでてくるということは、子どもたちの心に沁みついてきているということだと考える。「自立」と「自律」の違いまで、生徒に伝えられるとよいと思う。

（5）その他
なし

5　その他（校長より）
●委員の方々には、歩道のペイントや草取り、コーディネーターズカフェなどで、１年目から力を貸してくださり、感謝と喜びの思いである。
●ＣＳについては、最初の３年間が基礎だと言われている。来年度も継続して委員をお願いしたいと考えている。また、自治会や福祉の方にも加わっていただくことを検討している。
●来年度の第１回は、４月の下旬から５月の上旬を予定している。